

郷土の守護神が若宮で 新春の大空へ一斉放水

御船町消防団出初め式

郷土の守護神が伝統ある法被に袖をおとして、一堂に集結した。平成24年御船町消防団（石坂浩秋団長、416人）の出初め式が1月8日、若宮堰ふれあい広場（辺田見）で開催され、新年の幕を開けた。

式では、山本孝二町長が「団員には、消防精神の高揚に努め、防災体制の充実を図り、町民の幸せと郷土の繁栄に精進してください」と式辞。石坂浩秋団長は、「いつ何時、御船町に災害が起きるか分かりません。団員には、常に危機意識を持ち、日頃から、消防技術の習得に努め、町民の負託に応えるべく、日々努力してほしい」とあいさつした。

続く表彰は、県知事や県消防協会長から消防団員20人へ、町から無火災の分団と班に、賞状が贈られた。観閲では、山本町長と石坂団

長が分団ごとに規律と士気を確認。団員らは、白い吐息をはき、心身を引き締めた。式終了後、団員は防火衣を身にまとい、小型ポンプを始動させ、「放水始め」の号令で一斉に放水。新春の御船川に31本の水のアーチを描き、郷土の平穏な1年を心から願っていた。



1 若宮堰ふれあい広場に集結した機載車 2 分団ごとに観閲する山本町長と石坂団長 3 小型ポンプで一斉放水して御船川に水のアーチを描いた



募集 若き郷土の勇者を求む

町では、平成24年度消防団員を募集しています。消防団員は、郷土愛の精神で、火災、地震、風水害などの災害から、町民の生命、身体、財産を守ります。入団条件は、町内に住む18歳以上の人。消防団活動が可能であれば、町外からの入団もできます。団員には、報酬支給、公務災害補償、互助年金の加入資格などの保障もあります。消防団から入団勧誘がありましたら、快諾をお願いします。

▼問い合わせ 役場総務課地域・防災係 ☎282-1111



募集 勇気を奏でる楽団求む

御船町嘉島町消防音楽隊（井芹寿郎隊長）では、音楽隊員を募集しています。音楽隊は、上益城郡内を中心に活動するフルバンド編成の楽団です。アルト、サクソ、フルート、ドラム、ベースなど約10種類の楽器で演奏します。活動は、消防団行事、施設慰問、イベントに参加しています。募集要件は、18歳～65歳の人で、経験は問いません。週一回嘉島町公民館で練習しています。見学は自由です。



↑ 消防団行事を華やかな演奏で支える音楽隊員

表彰



↑ 蒲島郁夫県知事から永年勤続功労賞が贈られた吉田高之副団長

表彰者（敬称略）

- 県知事表彰（永年勤続功労賞）
副団長・吉田高之
6分団3班長・福永裕次郎
- 県消防協会表彰
- ▼ 功績章 3分団長・山崎三広 同副分団長・山崎正和 同2班・守田康浩 同3班・山下浩和 4分団1班・川口重徳 5分団1班・増村浩二 9分団2班・上杉宏行 同3班・吉住誉史 消防音楽隊・石坂裕二
- ▼ 勤績章 9分団2班長・永野芳行 1分団3班・山下満 3分団2班・星野政人 同3班・藤岡昌彰 5分団1班・藤本靖之 同・谷村繁幸 6分団6班・中原康弘 8分団1班・内山貴光 9分団2班・緒方裕樹 同4班・倉岡渉
- 無火災表彰
- ▼ 分団 6年間＝2分団 2年間＝3分団、7分団 1年間＝1分団、6分団、8分団
- ▼ 班 45年間＝3分団3班 10年間＝4分団3班 5年間＝1分団2班、同4班、6分団2班、8分団1班

受け継がれる
誇り高き火消しの魂



↑ 団員と一緒に筒先を握り放水を体験する御船城山少年野球クラブ